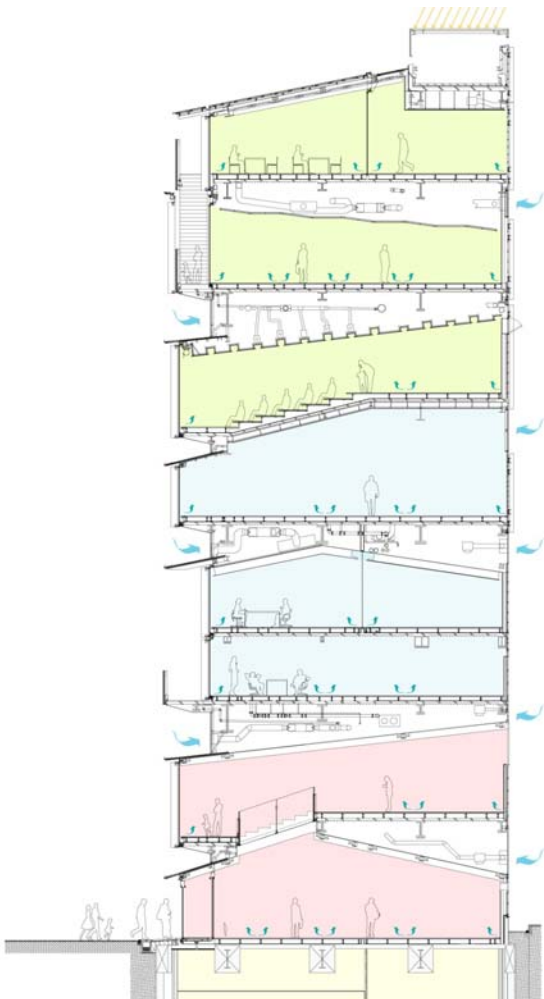


浅草文化観光センター

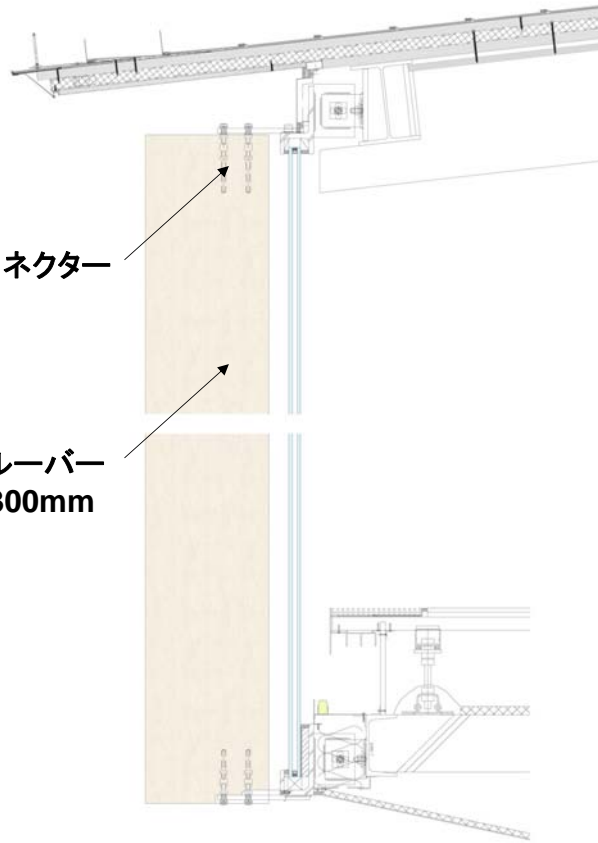
ASAKUSA CULTURE TOURIST INFORMATION CENTER



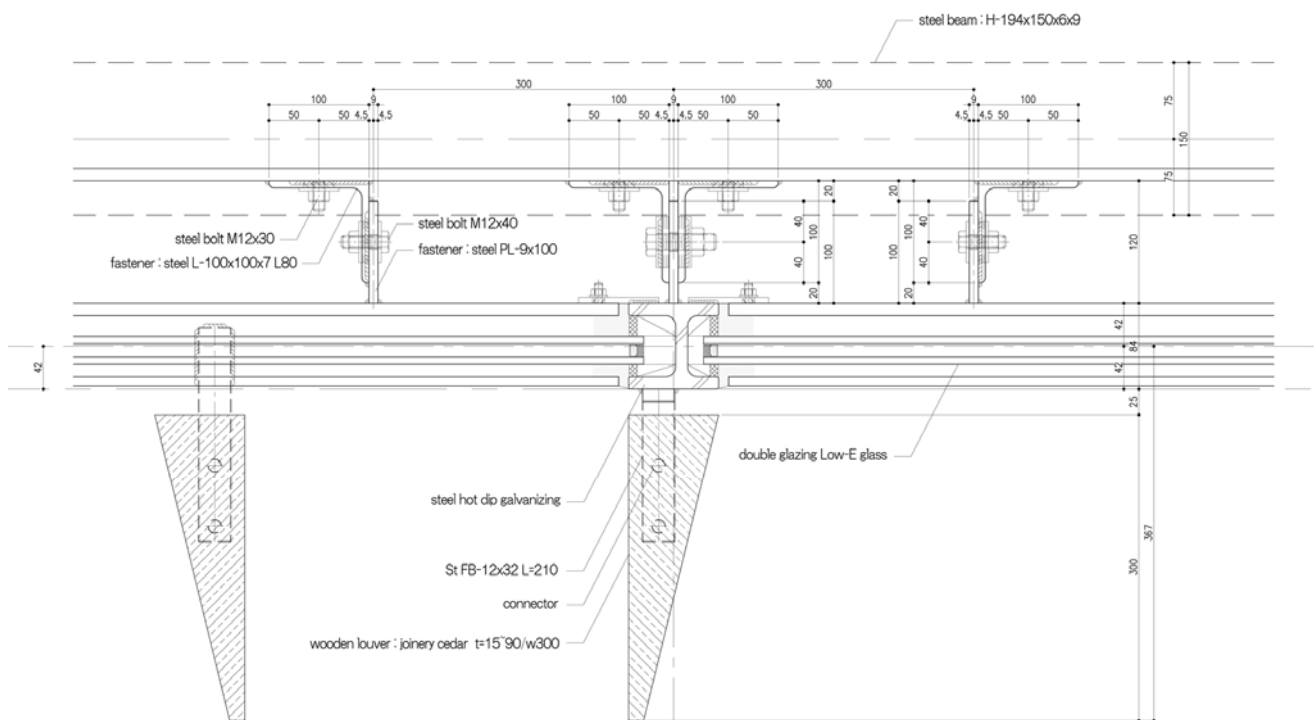
積層建築の新しい断面形状

ホームコネクター

不燃木ルーバー
奥行き300mm



不燃処理した杉の集成材をCWの上下枠からホームコネクターによって留めつける構造。



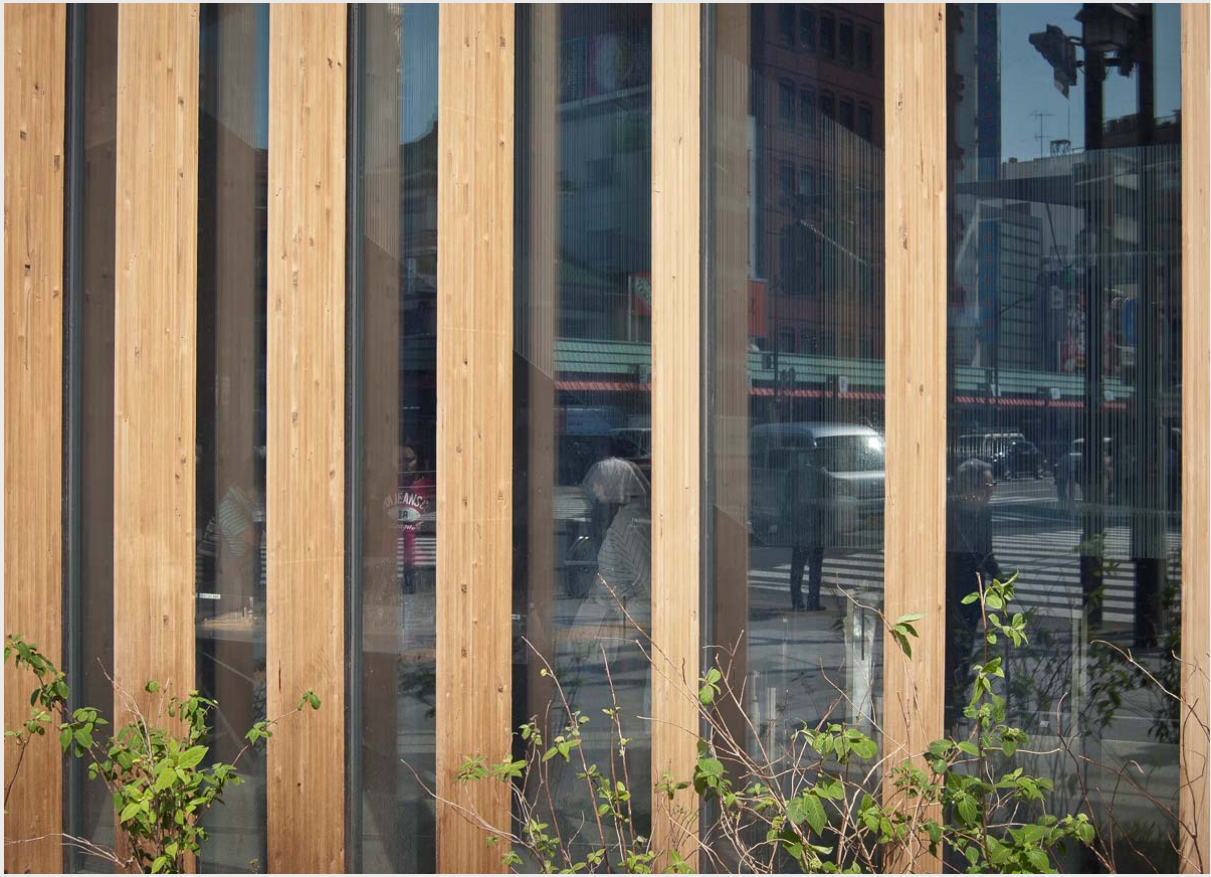
木のルーバーには奥行きと角度をもたせ、ランダムに並べることで多様な表情を演出する。



交差点からみた表情



インテリア側から見ても木の小口が見える



直角三角形の材を交互にならべることで多様な見え方になる



ルーバーの隙間から見える雷門



現場にモックアップを作製し、見え方とディテールを確認する。



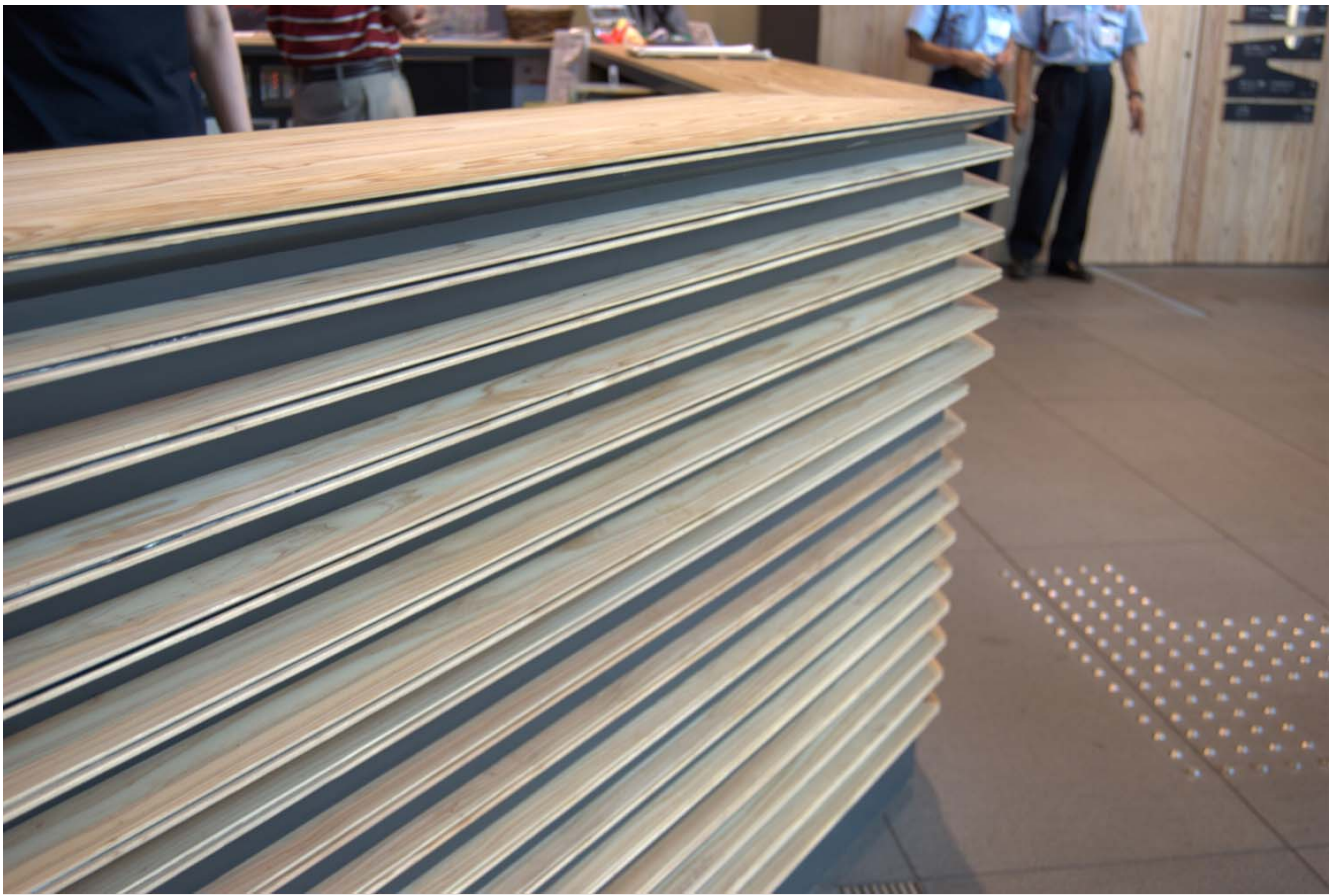
モックアップ作成時は木の横からボルトで留めるディテールだった。



横をボルトで留め、下部はアングルに乗せるだけの構造だった。



現場に納品されたルーバー。最終的には下部はフラットバーの分だけ座彫りしている。



羽目板のサネ部分をあえて見せるデザインとし、サネの奥を黒く塗るディテールとした。



杉の表情が温かい案内カウンターとなった。